

平成 29 年度に予定している神奈川県観光振興計画の見直しに係る諮問について

1 計画見直しの趣旨

- ・ 現行の「神奈川県観光振興計画」は、平成 28 年度から平成 30 年度までを計画期間として、平成 28 年 3 月に改定したものであるが、その後、旅行者のニーズが「モノ消費」から「コト消費」へシフトするなど、観光施策を取り巻く状況は大きく変化している。
- ・ また、平成 28 年 6 月に、神奈川県観光魅力創造協議会を設置し、観光コンテンツの発掘・磨き上げや、旅行業者等によるツアーの企画・商品化に取り組むとともに、平成 29 年 1 月に、神奈川県観光客受入環境整備協議会を設置し、官民が連携して行う受入環境整備について幅広く協議しているほか、外国語観光情報ウェブサイトの開設など、計画に位置付けていない新たな取組も進んでいる。
- ・ そこで、平成 28 年度の観光施策の取組状況や目標達成状況を踏まえ、現行計画期間の中間点である平成 29 年 10 月を目途に、計画の一部見直しをすることとし、その見直し内容について観光審議会に諮問する予定としている。

2 想定される計画見直しの内容

(1) 計画に位置付けていない新たな取組の追加

- 例) ・ 神奈川県観光魅力創造協議会の設置・運営
- ・ 神奈川県受入環境整備協議会の設置・運営
- ・ 観光客受入環境整備事業の一層の推進
- ・ 新たな外国語観光情報ウェブサイトの開設・運営
- ・ 観光レップの設置
- ・ 神奈川歴史観光振興事業の展開
- ・ 寄附金返礼事業

〈平成 29 年度当初予算案に計上して県議会で審議中の新規事業〉

- ・ ラグビーワールドカップを契機とした、県内誘客を促進するためのラグビー強豪国へのプロモーション
- ・ 動画コンテストの実施

(2) 目標値の見直し

- ・ 外国人旅行者の県内訪問者数は、平成 27 年に 223 万人となり、「神奈川県観光振興計画」で掲げた平成 30 年までに 201 万とする目標を前倒して達成している。

- ・ 今後、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、神奈川を訪れる外国人旅行者の一層の誘致を図っていく必要がある。
- ・ そこで、現行計画の外国人旅行者数の目標値を見直す方向で検討する。

(3) 計画に位置付けている施策・事業の見直し

- ・ 計画に位置付けている各種施策・事業について、取組状況を踏まえ、必要な記述の見直しを検討する。